

※本資料は、平成28年度用「新しい書写」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。なお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。また、次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

グレー部分：学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動

<b>2年</b>	<b>学習指導要領</b> [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (2)	ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。
-----------	---	--

単元名	単元の目標 (◎=主目標)	時数	配分	学習活動	評価項目 (◎=重点評価項目) (関)=関心・意欲・態度 (知)=知識・理解 (技)=技能
1 行書 ①形や方向の変化 P48-49  用具：毛筆「詩集」・硬筆	◎行書の基本的な4つの動きを理解する。 ◎点画の形や方向の変化に気をつけて書く。 ○学習したことをほかの文字に広げて書く。	2	2	※姿勢や持ち方について確認する。(全教材において確認する。) 1 「詩集」に4つの動きのパターンのどれが当てはまるか考える。 2 楷書と行書を比べて、形の特徴を発見する。 3 毛筆で「詩集」を書き、動きのパターンや形の特徴を確認する。 4 学習したことを、硬筆でほかの文字に応用する。 5 自己評価・相互評価をする。	◎行書の動きのパターンを理解している。(知) ◎点画の形や方向の変化に気をつけて書いている。(技) ○学習したことをほかの文字に広げて書こうとしている。(関)

<p>②点画の連続と筆順の変化 P50-51</p> <p>用具：毛筆「国際社会」・硬筆</p>	<p>◎行書の基本的な4つの動きを理解する。</p> <p>◎点画の連続と筆順の変化に気をつけて書く。</p> <p>○学習したことをほかの文字に広げて書く。</p>	2	2	<p>1 「国際社会」に4つの動きのパターンのどれが当てはまるか考える。</p> <p>2 楷書と行書を比べて、形の特徴を発見する。</p> <p>3 毛筆で「国際社会」を書き、動きのパターンや形の特徴を確認する。</p> <p>4 学習したことを、硬筆でほかの文字に応用する。</p> <p>5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎行書の動きのパターンを理解している。(知)</p> <p>◎点画の連続と筆順の変化に気をつけて書いている。(技)</p> <p>○学習したことをほかの文字に広げて書こうとしている。(関)</p>
<p>2行書と仮名 ①行書に調和する仮名 P56-57</p> <p>用具：毛筆（小筆）「五十音」・硬筆</p>	<p>◎行書に調和する平仮名の筆使いや字形の特徴を理解する。</p> <p>○行書に調和する片仮名の筆使いや字形の特徴を理解する。</p>	2	2	<p>1 楷書に調和する平仮名と行書に調和する平仮名を比べて、違いを発見する。</p> <p>2 五十音表を見て、行書に調和する平仮名の特徴を発見する。</p> <p>3 小筆や鉛筆で、楷書に調和する平仮名を書く。</p> <p>4 小筆や鉛筆で、楷書に調和する片仮名を書く。</p> <p>5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎行書に調和する平仮名や片仮名を整えて書いている。(技)</p> <p>○行書に調和する平仮名と字源の漢字の似ているところを探そうとしている。(関)</p>
<p>②行書と仮名の調和 P59-62</p> <p>用具：毛筆「流れる雲」「豊かな自然」・硬筆</p>	<p>○行書の基本的な4つの動きを理解する。</p> <p>○行書の形の特徴に気をつけて書く。</p> <p>◎行書と仮名の調和を考えて書く。</p>	2	2	<p>1 「流れる雲」を見て、行書に調和する仮名の特徴を確認する。</p> <p>2 毛筆や硬筆で「流れる雲」を書いて、行書と平仮名の調和を確認する。</p> <p>3 行書と平仮名の調和に気をつけて、毛筆や硬筆で「豊かな自然」を書く。</p> <p>4 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>○行書の動きのパターンを理解している。(知)</p> <p>○行書の形の特徴に気をつけて書いている。(技)</p> <p>○行書と平仮名を調和させて書いている。(技)</p>
<p>③配列 P63</p> <p>用具：硬筆</p>	<p>◎配列と、行書と平仮名の調和に気をつけて書く。</p>	1	<p>0.1</p> <p>0.7</p> <p>0.2</p>	<p>1 教科書を見て、配列のポイントを確認する。</p> <p>2 硬筆で「枕草子」の文章を書く。</p> <p>3 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎配列を整え、行書と平仮名を調和させて書いている。(技)</p>

好きな言葉を書こう P64-66 用具：毛筆（小筆）・硬筆	◎用紙に合わせて、配列を整えて書く。 ○適切な筆記具を選んで書く。	1	0.5	1 書きたい言葉を選ぶ。 2 用紙を選び、配列や書体を確認する。 3 筆記具を選ぶ。 4 配列に気をつけながら下書きをする。	◎用紙に合わせて、適切な配列で書いている。（技） ○適切な筆記具を選んで書こうとしている。（関）
			0.5	5 まとめ書きをして鑑賞し合う。 6 自己評価・相互評価をする。	
3 楷書と行書 ①楷書と行書の使い分け P68-69 用具：硬筆	◎目的や場面に応じて楷書と行書を使い分ける。	1	1	1 教科書を見て、4つの場面でそれぞれ楷書と行書のどちらを用いるのが適切か考える。 2 楷書と行書の使い分けについて、友達と話し合う。 3 自己評価・相互評価をする。	◎目的や場面に応じて楷書と行書を使い分けている。（知） ○楷書と行書の使い分けについて、考えたことを友達と話し合おうとしている。（関）
②配列 P70-71 用具：毛筆（小筆）・硬筆	◎用紙全体に対する配列を考えて書く。 ○楷書と行書の違いを意識して書く。	2	0.5	1 教科書を折って、活字だけを見て、硬筆で文章を書く。	◎用紙全体から配列を考えて、整えて書いている。（技） ○楷書と行書の違いを意識して書こうとしている。（関）
			0.5	2 教科書を開き、自分の書いた文章と教科書の手書きの文章を比べる。 3 教科書の手書きの文章を見て、ノートに書く。	
			0.8	4 教科書 P71 を参考に、用紙や筆記具、配列を考えながら、掲示物を書く。	
			0.2	5 自己評価・相互評価をする。	

<p>【生活に広げよう】 書き初めをしよう 巻末折り込み</p> <p>用具：毛筆（筆・小筆）</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書く。</p>	<p>2</p>	<p>0.1 1.7 0.2</p>	<p>1 書き初めの意義や心構えについて確かめる。</p> <p>2 字形や筆使い、文字の大きさ、配列、名前の位置などに注意して、毛筆で「感謝する心」や「信念を貫く」を書く。</p> <p>3 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書いている。 (技)</p>
<p>4 生活を豊かにする文字 防災訓練に参加しよう P72-79</p> <p>用具：毛筆・硬筆</p>	<p>○目的や用途によって用具・用材を選び、丁寧に書く態度を養う。</p> <p>◎これまでの学習を生活に広げる力をつける。</p>	<p>4</p>	<p>2 1.8 0.2</p>	<p>1 「防災訓練」という設定で、書写で学習したことが生かされる場面について確認する。</p> <p>2 目的や用途の違いによって用具・用材が違っていることを確認する。</p> <p>3 メモ帳やポスターなど、目的や用途によって、用具や書体を選び、配列を考えて書くことを確認する。</p> <p>4 教科書掲載作品例から一つを選び、実際に書いてみる。</p> <p>5 自己評価・相互評価をする。</p> <p>※この教材は、他教科や総合学習などに関連させて扱ってもよい。</p>	<p>◎これまでの学習を生かして、メモ帳やポスターなどを書いている。 (技)</p> <p>○目的や用途を考えて、丁寧に書いている。(技)</p> <p>◎学習したことを生活に広げようとしている。(関)</p>
<p>書いて味わおう「平家物語」 P80</p> <p>用具：硬筆</p>	<p>◎2年の学習を生かして、古典教材を硬筆で書く。</p> <p>○書くことで古典のよさを味わう。</p>	<p>1</p>	<p>0.1 0.7 0.2</p>	<p>1 国語の授業で学習した「平家物語」を思い出す。</p> <p>2 「平家物語」を硬筆で書く。</p> <p>3 書いた感想を伝え合う。</p>	<p>◎2年で学習したことを生かして硬筆で書いている。 (技)</p> <p>○書くことの楽しさを味わおうとしている。(関)</p>